

2016年度

定時評議員会を開催しました

2016年6月24日（金）東京都生協連北新宿事務所会議室において「2016年度 定時評議員会」を開催し、以下の決議事項について提案と審議が行われ、全議案とも満場一致で提案どおり承認可決されました。また、以下の報告事項について承認されました。

- [議決事項] 第1号議案 2015年度事業報告及び決算（計算書類）承認の件
第2号議案 公益目的支出計画実施報告書承認の件
第3号議案 理事及び監事並びに顧問の報酬等決定の件

- [報告事項] ・2016年度事業計画及び収支予算について
・この間の業務執行状況

地域生活研究所 一般研究助成 2014年度の 研究成果報告会開催

2016年6月24日（金）東京都生協連北新宿事務所会議室において「2014年度 地域生活研究所一般研究助成 研究成果報告会」を開催しました。

西田常任理事の挨拶ののち、助成対象者3名から、助成案件について報告が行われ、それぞれの報告について質疑応答を行いました。終了後、青山選考委員長から講評をいただきました。報告案件および報告者は以下のとおりです。

□いまの福祉を見せ、共に福島を考える

団体向け視察プログラム「エクスカーション」の開発と普及に向けた取組み

沢田 安代さん（福島学研究所）※代理報告

□地域消費生活センターによる親子を対象とする消費者教育 ～その現状と課題～

加藤 絵美さん（特定非営利活動法人親子消費者教育サポートセンター理事）

□地域コミュニティにおける「居場所」に関する研究

石井 義之さん（法政大学大学院人間社会研究科）



西田常任理事

沢田さん



加藤さん

石井さん



青山選考委員長

『まちと暮らし研究』23号 市民社会のデモクラシー

『まちと暮らし研究』23号を発行しました。今号のテーマは『市民社会のデモクラシー』といたしました。今年から18歳の投票権が認められたこともあり、ホットな話題のひとつです。この時期にデモクラシーを論じる事は、大きな意義があると考えました。選挙での「一票の格差」や民主主義の仕組みを私たちが活用していく上で大切なのは、市民自らが主人公として、地域の中、生活の場から発信していくことです。生活者の思いをくみ取らなければ、身のある施策には決してなりません。この間の安保法制をめぐる国民的議論では、一人一人の政治への参加が重要と認識されました。SEALDsに象徴されるように、市民・主婦・学生が自らの声を挙げ行動していくことが、民主主義の成熟につながると評価されています。市民自らが主人公となり地域や社会を改革していく、今回の企画がその一助になれば幸いです



＜主な内容＞

- ・ 民主主義の意味も時代によって変わる
 - ・ 議会を私たちの手に取り戻すのは
 - ・ 街頭の民主主義 —新しい政治参加を読み解く
 - ・ 道半ばの民主主義を進めるために
 - 都道建設計画をめぐる小平での住民投票の経験から
 - ・ 生協が条例をつくった —食品安全条例制定運動をめぐって
 - ・ 公文書管理と情報公開 —市民が情報にアクセスできるために
 - ・ 欧州における政治教育の実践とその目指すもの —オーストリアの事例から
 - ・ 打ち捨てられた「協働管理運営」
 - さいたま市市民活動サポートセンターの直営化が投げかけたもの
 - ・ 東京都議会における一票の差
 - ・ 自治体議会への市民の参加
 - ・ 特集「市民社会のデモクラシー」を編んで
- 2014年度地域生活研究所一般研究助成 助成論文
- ・ いまの福島を見せ、共に福島未来を考える
 - 団体向け視察プログラム「エクスカッション」の開発と普及に向けた取り組み
 - ・ 地域消費生活センターによる親子を対象とする消費者教育～その現状と課題～
 - ・ 地域コミュニティにおける「居場所」に関する研究

(著者：敬称略)

- 青山 侑
- 大山 礼子
- 畑山 敏夫
- 水口 和恵
- 林 和孝
- 三木 由希子
- 近藤 孝弘
- 村田 恵子
- 佐藤 草平
- 高沖 秀宣
- 編集部
- 開沼博・伊達洋
- 駆・沢田安代
- 加藤 絵美
- 石井 義之

情報誌および専門書などの編集発行

◆研究誌『まちと暮らし研究』発行実績◆

今年度も年2回の発行を予定し、創刊以来23号発行しました。研究誌を広く配布することで、都内の生協をはじめ、各団体との交流を促進し、研究所の社会的な発信力を強めるよう努力しました。また、希望者には、1冊あたり500円で頒布しています。

- ◇ 21号 (2015年6月発行) 「子どもの権利と多様な学び」
- ◇ 22号 (2015年12月発行) 「高齢化」と東京の課題
- ◇ 23号 (2016年6月発行) 「市民社会とデモクラシー」



ブックレット頒布のご案内

<平和とよりよい生活のために>『生協の歴史から戦争と平和を学ぶ』

齋藤 嘉璋著

生協は平和を大切に、核兵器廃絶や戦争反対の取り組みをしています。戦後70年経って、戦争と平和について関心が高まっている今、あらためて考えてみたいと思います。太平洋戦争は広島、長崎の原爆投下、その直前の全国各地都市への空襲、沖縄での悲惨な地上戦など国民に多大な犠牲、被害をだして終結しました。その前の日中戦争、さらに満州事変から数えると15年にわたる戦争の時代の終わりでした。戦争の歴史について振り返り、教訓を学ぶことは平和を願う国民一人ひとりにとってのテーマだと思いますが、ここでは生協人として歴史を振り返ってみたいと思います。生協はなぜ戦争に反対し、平和の活動に取り組むのか？この歴史に学ぶことで理解が深まることを期待します。

(「はじめに」より抜粋)



ブックレット『生協の歴史から戦争と平和を学ぶ』を頒布しています。著者の齋藤嘉璋さんは当研究所の元評議員でもあり、早稲田大学生協や戸山ハイツ生協、東京都民生協などの都内の各生協や東京都生協連、日本生協連の役員を歴任されました。戦後70年経った今、改めて生協の歴史から戦争と平和を学ぶ機会にいただければ幸いです。

☆目次☆

発刊にあたって 庭野 吉也
はじめに一平和な未来のために

第1部 戦前・戦中の生協の歴史

- 1) 日本の生協の創成期 2) 新興消費組合の誕生と発展 3) 満州事変から日中戦争へ
4) 日中戦争から太平洋戦争へ一戦時統制の強化と生協 5) 戦争の時代と生協

第2部 生協の平和活動の歴史

- 1) 廃墟のなかから 生協の再建 2) 原水爆禁止運動の最初 3) 生協の反核・平和活動の歴史 4) 生協の平和活動の特徴

特別掲載 戦後70年におもう 竹本 成徳
あとがき 齋藤 嘉璋

発行元・東都生活協同組合 頒布価格 400円 A5版 64ページ

問い合わせ先：一般財団法人地域生活研究所（担当：三浦）

TEL：03-6844-7942

FAX：03-6844-6845